

平成29年度事務事業評価議会評価報告書に対する予算反映等改善書

事業名 7-2-10 公民館整備事業

【予算反映等改善事項】

公民館については、地域の社会教育の拠点施設として地域住民に認識され、多くの方々に有効利用をされていると理解しています。また、台風等の大雨時の避難や地震での家屋被災などの際の一時的な避難所としても重要な活用が見込まれています。

その施設数としては、各小学校区に一つずつの11施設ありますが、将来の人口減少を見据え、施設の耐用年数も考慮して大規模改修や更新等の整備計画を「小松島市公共施設等総合管理計画」に基づいた個別施設実施計画として策定する必要があると考えています。その際には、施設数の統合や他の用途施設との複合化等を十分検討し、将来におけるライフサイクルコストが本市の財政全般へ過度な負担とならないよう適正な施設規模となることが重要であるのは言うまでもありません。

一方で、既存施設についてはほとんどが建築後相当期間が経過して老朽化も進んでおり、大半の施設が耐震性を満たしていない状況から、安全安心な利用を考えるうえで、早期にその問題を解消しなければならない状況にもなっています。

施設整備においては、利用年数も長く、そうした状況がある場合は将来を見据えて更新せずに施設数を減じていく方法も考えられなくはないですが、現時点での人口及び利用者数を考慮して、ある程度の施設数の維持も必要であると考えられます。

そうした状況を踏まえ、公民館運営審議会等第三者の意見も聞きながら、可能な限り早期のうちに個別施設計画を策定し、適正な施設管理が実施できるよう考えております。